

N Engl J Med. 2016 ; 374 (7) : 647-655

帝王切開時の手術前皮膚消毒薬に関する無作為化比較試験

A Randomized Trial Comparing Skin Antiseptic Agents at Cesarean Delivery

Tuuli MG, Liu J, Stout MJ, Martin S, Cahill AG, Odibo AO, Colditz GA, Macones GA.

背景

手術前の皮膚消毒薬として、様々なものが利用可能である。主なものはアルコール（AL、エタノールまたはイソプロパノール）、クロルヘキシジングルコン酸塩（CHG）、ポビドンヨード（PI）である。アルコールの優位性はこれまで多くの研究で示されており、その速効性が手術前の皮膚消毒薬として適した特性であることが明らかになっている。一方、残留活性を特性とする CHG と PI の優劣については明確ではない。

方法

帝王切開時の手術前皮膚消毒として、2%CHG-AL と 8.3%PI-AL を比較した。アウトカムは手術部位感染（SSI）とし、臓器・体腔 SSI は除外した。さらに、表層切開創 SSI と深部切開創 SSI に分けた評価も行われた。

結果

臓器体腔 SSI を除く SSI は、CHG-AL 群で 4.0%、PI-AL 群で 7.3%、と、CHG-AL 群で低値だった。また、その差は統計学的に有意であった ($p=0.02$)。表層切開創 SSI、深部切開創 SSI で比較しても、CHG-AL 群は PI-AL 群に比べて少ない傾向にあった。

| | CHG-AL 群 (n=572) | PI-AL 群 (n=575) | 相対リスク |
|-----------|------------------|-----------------|------------------|
| 表層切開創 SSI | 17 件 (3.0%) | 28 件 (4.9%) | 0.61 (0.34-1.10) |
| 深部切開創 SSI | 6 件 (1.0%) | 14 件 (2.4%) | 0.43 (0.17-1.11) |
| 合計 | 23 件 (4.0%) | 42 件 (7.3%) | 0.55 (0.34-0.90) |

結論

創感染の予防目的には、手術前皮膚消毒として CHG-AL が PI-AL よりも優れている。

監修者コメント

カテーテル関連血流感染の予防において、CHG が PI に優るというデータは多く出ており、昨年は CHG-AL の PI-AL に対する優位性を明確に示す研究結果も報告された。本論文は、SSI 予防に関して CHG-AL の優位性を示した初の論文として注目される。

監修者

森兼 啓太（山形大学医学部附属病院 検査部 部長・病院教授、感染制御部 部長）